

資料2

平成25年2月定例会(事前)
文教厚生委員会資料
教育委員会

池田高校・辻高校・三好高校の再編統合に係る計画(案)

平成25年2月

徳島県教育委員会

目 次

1	再編統合の概要	1
2	教育内容	2
3	教育環境の整備	4
4	今後の取り組み	4
	図 再編統合校における教育のイメージ	5

1 再編統合の概要

再編統合校においては、池田高校、辻高校及び三好高校がこれまで培ってきた教育を継承するとともに、地域の子どもたちの多様な学習ニーズに対応した教育を展開することにより、三好地域の子どもはこの地域の学校で教育し、地域の発展に貢献する人材を育成する。

(1) 設置場所

本校を池田高校とし、現辻高校及び現三好高校の校地に分校を設置する。
名称は、池田高校辻校、池田高校三好校とする。

(2) 設置学科 <小学科・系列名は仮称>

	大学科	小学科・系列
本校	普通科	
	理数科	探究科
辻校	総合学科	情報ビジネス系列 生活デザイン系列 医療・福祉系列
三好校	農業科	食農科学科 環境資源科

(3) 時期

平成29年度に池田高校辻校、池田高校三好校を設置する。

2 教育内容

(1) 特色ある教育

① 普通科, 理数科, 総合学科, 農業科併設のメリットを活かした教育

ア 生徒の能力・適性, 興味・関心, 進路希望に応じ, 専門教科の教員による, 学科の枠を越えた幅広い分野の特別講座等を導入する。

イ それぞれの学科(系列)において実施する資格検定等を, 学科(系列)の枠を越えて受検可能にする。

② これまでに培ってきた池田高校, 辻高校, 三好高校の教育を継承し, 発展させた教育

基礎学力の充実や, それぞれの学科や系列の特色に応じた高度な資格取得を図ることにより進学・就職のいずれにも対応した教育を行う。

③ 地域と連携し, 地域の資源, 地域の教育力を活かした教育

ア 身近な伝統文化や史跡, 動植物や自然についての学習を通して, 地域への愛着を育てる教育を行う。

イ 医療機関, 福祉施設, 民間企業や農業法人などと連携し, インターンシップや体験学習を通して, 職業意識の醸成と地域の発展に貢献する人材の育成を行う。

ウ 地域の優れた人材や資源を活かし, 体験的・実践的な教育を行う。

(2) 各学科の教育

① 普通科

普通科	生徒一人一人の進路目標の実現を図るため、幅広い分野の普通教科・科目を設定し、学ぶ意欲と自主的に学習する習慣を育て、基礎・基本を徹底し、社会で自立できる人材を育成する。
-----	---

② 理数科

探究科	ゼミ形式の授業、各種研究機関を活用した学習、課題の発見から解決までの学習を通して、探究活動の基礎となる能力を身につけさせ、社会のリーダーとして活躍できる人材を育成する。
-----	--

③ 総合学科

情報ビジネス系列	簿記・会計及び情報処理の重点的な学習を通して、ビジネスや情報化社会で活躍できる知識や能力を身につけさせ、地域産業を担う人材を育成する。
生活デザイン系列	被服や調理の実習の他、保育所や福祉施設等での実践的な学習を通して、日常生活における「衣」「食」「住」の各分野を専門的に学習し、生活の向上や充実に貢献できる人材を育成する。
医療・福祉系列	看護や福祉の基礎科目を学習するとともに、地域の医療機関や福祉施設等での体験的な学習を通して、看護や福祉の心を育て、地域の医療や介護等を支える人材を育成する。

④ 農業科

食農科学科	植物の栽培や動物の飼育に関する知識・技術、生産物を利用した食品について多面的に学習し、農と食の分野において地域産業を支える実践的な人材を育成する。
環境資源科	森林の多面的な価値や機能とその保全、利用に関する知識・技術を習得し、森林資源を活かした地域の振興に貢献できる実践的な人材を育成する。

3 教育環境の整備

- (1) 既存の施設・設備を有効活用する。
- (2) 計画的に施設の耐震化を行う。
- (3) 必要となる施設・設備の整備を図る。

4 今後の取り組み

再編統合準備委員会を設置し、再編統合準備を進める。

(1) 構成員

池田高校、辻高校、三好高校及び県教育委員会の関係職員

(2) 検討内容

- ① 学校運営に関すること
(学校の重点目標、学科の教育目標、教育課程、必要な教育施設、生徒募集、学則、諸規程など)
- ② 教育環境の整備に関すること
- ③ 円滑な統合を図るための学校間連携に関すること
- ④ その他(部活動など)

図 再編統合校における教育のイメージ



